



第3回日本視野学会学術集会 モーニングクルーズス1

# 緑内障メグスリ、 そしてQOV・・・

2014年 6月 29日 (日)

8:00 ~ 9:00

第1会場 THE GRAND HALL  
品川グランドセントラルタワー 3F  
〒108-0075 東京都港区港南 2-16-4

座長  
吉川眼科クリニック 院長

吉川 啓司 先生



## 1 メグスリって凄い！だから、その1滴がダイジ！

京都ひとみケアリサーチ  
代表

河嶋 洋一 先生



河嶋先生 略歴  
1977年 大阪市立大学大学院理学研究科  
博士課程修了[理学博士]  
1977年 参天製薬株式会社入社  
2013年 京都ひとみケアリサーチ設立

## 2 ダイジなその1滴・・・、目に入っている？！

住友別子病院

浪口 孝治 先生



浪口先生 略歴  
2006年 愛媛大学医学部医学科卒業  
2006年 松山赤十字病院勤務  
2007年 愛媛大学医学部附属病院勤務  
2008年 愛媛大学医学部附属病院  
視機能外科学教室入局  
2009年 住友別子病院眼科勤務  
2010年 愛媛大学医学部附属病院眼科勤務  
2010年 愛媛県立南宇和病院眼科勤務  
2012年 住友別子病院眼科勤務

第3回日本視野学会学術集会へのご参加には参加登録が必要です。  
2014年6月2日18:00まで早期割引を実施しております。(※以降は当日登録となります)  
ホームページをご参照ください。

<http://jps.umin.jp/meeting/m-index.html>

# 第3回日本視野学会学術集会 モーニングクルーズ1

日時 2014年6月29日(日) 8:00~9:00  
会場 THE GRAND HALL (品川グランドセントラルタワー 3F)

## 「緑内障メグスリ、そしてQOV・・・」

最近の緑内障点眼薬の眼圧下降力は目を見張るレベルにあり、治療の確実性が向上し、より良い見え方(QOV)の確保に向けて貢献している。しかし、緑内障は自覚症状に乏しいため、「メグスリ、使えば効くけれど、使わなければ・・・」が文言に留まらず、罷り通る病气。つまり、QOVの確保は一筋縄にはいかない。

さらに、メグスリをキチンと使っていても、メグスリの1滴がキチンと目に入らなければ、百歩譲らなくても、効きはしない・・・一方、「点眼すること」は「内服すること」に比べて格段に難しく、キャップを外し、容器を眼前に構え、容器を押し、滴下された1滴が眼表面に入って始めて「点眼操作の完結」。それだけ複雑な作業ステップの影響か？緑内障では正確に滴下できる確率が正常者に比べて低いことが報告されている。となると、緑内障のQOVの律速段階は「メグスリの滴下」?!

そこで、今回、緑内障メグスリについて使用する側の usability を重視した立場から長年研究されてきた河嶋洋一博士と、目下、緑内障メグスリの滴下具合の研究に精力的に取り組まれている浪口孝治博士から「点眼すること、滴下すること」の難しさと実態を詳らかにしていただくこととした。QOVとの直接的関連性の実感と再確認ができ、緑内障メグスリへの見かたが一変するかも・・・

### 座長

吉川 啓司 先生 (吉川眼科クリニック 院長)

1976年 日本医科大学卒業  
1986年 東京女子医科大学眼科講師  
1995年 吉川眼科クリニック開業

1976年 東京女子医科大学眼科  
1987年 オリオン・クリニック眼科

### 演者

「メグスリって凄い！  
だから、その1滴がダイジ！」

河嶋 洋一 先生 (京都ひとみケアリサーチ 代表)

1977年 大阪市立大学大学院理学研究科博士課程修了(理学博士) 1977年 参天製薬株式会社入社  
2013年 京都ひとみケアリサーチ設立



「ダイジなその1滴・・・、  
目に入っている?!」

浪口 孝治 先生 (住友別子病院)

2006年 愛媛大学医学部医学科卒業  
2007年 愛媛大学医学部附属病院勤務  
2009年 住友別子病院眼科勤務  
2010年 愛媛県立南宇和病院眼科勤務

2006年 松山赤十字病院勤務  
2008年 愛媛大学医学部附属病院視機能外科学教室入局  
2010年 愛媛大学医学部附属病院眼科勤務  
2012年 住友別子病院眼科勤務

